

# 栗原市



栗原市花山地区に伝わる花山鉄砲祭りは、約300年の歴史があり、現在は毎年5月5日のこどもの日に行われています。正徳2年（1712）、伊達家の重臣であった遠藤守信の妻が、花山の御嶽神社に病弱なわが子の健康を祈願したところ成就したため、その御礼として鉄砲組に礼砲を撃たせたのが祭りの始まりとされています。後に、悪魔を払って病難を退け、害鳥を追い払い五穀豊穡を願う行事として、今日まで受け継がれており、現在、市の無形民俗文化財に指定されています。



祭りは御嶽神社での神事から始まり、その後、神社から火縄銃の発砲演武会場となる旧花山中学校校庭まで、鉄砲組を先頭に、子供鉄砲隊、稚児行列、神輿などが街中を練り歩きます。発砲会場では、12人からなる鉄砲組によって古式技法にのっとった火縄銃の発砲が行われ、当時の様子をうかがうことができます。